

今求められる大学発イノベーション

坂本修一：文部科学省科学技術・学術政策局
産業連携・地域支援課

我が国は少子高齢化をはじめとする大きな問題に直面しているが、その克服のためには、世界的なイノベーション競争に打ち勝ち、しっかりとした経済社会の基盤を構築、維持していくことが不可欠である。産業構造が資本集約型から知識集約型へと大きく転換しようとしている中で、大学の社会的役割についても変革が求められている。

その変革とは、新たな知識・技術及び人材を生み出すことを軸に、大学がイノベーション・エコシステム形成において中核的役割を果たすことと言える。大学が主体的に、製造業、サービス業、投資・金融機関、地方自治体等のパートナーと新たな関係性を構築し、知識・技術、資金、人材を循環させて、共同で価値創造を行い、ともに成長するシステムの構築に取り組むことは、日本の未来にとってなくてはならないものとなっており、社会的期待は大きい。この期待に応えることは、2006年の教育基本法改正によって加えられた社会貢献という大学の使命を果たすことはもとより、大学の学問（特に実学）を社会と協力して発展させるために不可欠な営みと言える。

このように、大学に求められる新たな役割の意義とその観点から重要となる大学のマネジメント改革、政府が展開している促進策について概観する。

関連 web

<http://www.jst.go.jp/opera/koubo.html>